



川東小だより

第5号

令和3年9月15日
新発田市立
川東小学校

タブレット端末の活用に向けて

校長 岡崎 功一

夏休みが終わり、子どもたちの声が校舎内に響いています。この夏休みは、新型コロナウイルスの感染拡大のニュースが連日報道され、不安で不便な日々を強いられる日々だったのではないのでしょうか。しかし、そのような日々の中にも、子どもたちの夏休みの課題（自由研究、絵や工作など）を見ると、子どもたちが創意工夫をして作成したことが感じられ、がんばりや充実ぶりが伝わってきました。大きな事故等の連絡もありませんでした。子どもたちにとって思い出に残る夏休みを過ごせたのではないかと思います。保護者の皆様に感謝申し上げます。

まだまだ、新型コロナウイルス感染拡大が心配な状況が続き、学校行事等、一部見直しをして教育活動を進めていくこととしました。しかし、あまり委縮せず、感染予防をしながらも子どもたちが伸び伸びとできる教育活動を進めてまいりたいと思います。

さて、2学期から一人一台のタブレット端末を使った学習を進めていきます。このタブレット端末は、鉛筆やノートと並ぶ「新しい文房具」として日常的に活用していくものになります。始業式では（ZOOMを使った遠隔で）、子どもたちに次の話をしました。

<要約>

一人一台のタブレット端末を使った学習を2学期から本格的に始めます。少しずつ使い方に慣れていきましょう。このタブレットを使うことによって、学びが深まります。

例えば

○ロイロノートというアプリでは、自分の考えや友達の考えをクラスみんなに知らせることができます。そのことで、自分の考えをまとめたり振り返ったりするのに役立ちます。

○Qubina(キュービナ)というドリルアプリでは、間違ったところやつまずきなどをAIが診断して、どんなやり方をすればよいのか、ヒントを出してくれます。

○調べ学習ももちろんできます。今までにもパソコンでやったようにできます。

大変便利な道具ですが、使う際には、大事なことがあります。まず、大切に扱ってください。6年生まで使うことになります。そして、使う際は、ルールがあるので、しっかり担任の先生とおうちの人と確認をして使っていきます。タブレットを有効に使い、学びを深めていきましょう。

子どもも職員も、タブレット端末を使つての学習は、初めてなので、正直なところ不安や戸惑いがあります。試行錯誤で手探りをしながら、操作に慣れるところからスタートしていきます。その後、家庭への持ち帰り、宿題や自主学習などにも使っていく予定です。始業式の日「タブレット持ち帰りのルール」を配布させていただきました。タブレット端末を効果的に活用していくには、ご家庭のご協力も必要となります。安全でスムーズにタブレット端末の活用に向けて、保護者の皆さんと一緒に取り組んでまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。